

スターク製薬

# 新型インフル除菌液

事業所向け スプレーや加湿器用

衛生製品など製造販売のスターク製薬(水戸市河和田町)は、新型インフルエンザ予防のための除菌商品を開発した。消毒用の二酸化塩素を基にした液体商品で、スプレー型や加湿器への充てん型などを製造。主な販売エリアを県内全域にし、新型インフルの感染者数の増加が予想される学校や医療・福祉現場など事業所向けに販売を広げる。



開発したのは、除菌用スプレー(500ml入り)▽加湿器用除菌液(1リットル入り)▽卓上型ジェル(180g)。スプレーは、事業所

や公共施設の入り口などに設置し、従業員や利用者が自ら手指に噴霧する。800回使用可能。加湿器用は、容量2リットルの加湿器に20リットルずつ液体を入れて1

新型インフルエンザの予防など向けに開発されたスプレーや加湿器用商品

00分の1に薄め、室内に噴霧。連続10時間稼働で、50回使用できる。ジェル商品はにおいが気になる場所に置く。

効能は細菌やウイルス、カビの増殖と悪臭発生を抑制する。反応が早いので低濃度で除菌や消臭の効果を出す。人体に有害な物質は発生しないという。

同社の佐藤英明取締役は「塩素系の強い除菌剤は手荒れやアルコール蒸発による効果減退などの問題がある。

手指だけでなく、噴霧により飛まつや空気感染を防ぐことができると指摘した。価格はスプレーで2800円、加湿器用で1万5千円台(税別)に設定。医薬部外品でなく雑貨扱いのため業務としては扱いやすく、価格も低めという。

取得。製造は外部に生産委託した。販売は、県内3社を含む約15社の代理店を通じて行う。学校や公共施設に強い商社の衛検産業(水戸市元吉田町、石井信明社長)とも代理店契約し、公共関連に拡販を始めた。店頭やネットでは販売せず、事業所を対象とする。(綿引正雄)

## ● スターク製薬 事業所向け 新型インフル除菌液

2009/09/17(木) 茨木新聞朝刊 経済 A版 10頁

### ■スプレーや加湿器用

衛生製品など製造販売のスターク製薬(水戸市河和田町)は、新型インフルエンザ予防のための除菌商品を開発した。消毒用の二酸化塩素を基にした液体商品で、スプ



レー型や加湿器への充てん型などを製造。主な販売エリアを県内全域にし、新型インフルの感染者数の増加が予想される学校や医療・福祉現場など事業所向けに販売を広げる。

開発したのは、除菌用スプレー(500ミリℓ入り)▽加湿器用除菌液(1ℓ入り)▽卓上型ジェル(180グラム)。

スプレーは、事業所や公共施設の入り口などに設置し、従業員や利用者が自ら手指に噴霧する。800回使用可能。加湿器用は、容量2ℓの加湿器に20ミリℓずつ液体を入れて100分の1に薄め、室内に噴霧。連続10時間稼働で、50回使用できる。ジェル商品はにおいが気になる場所に置く。

効能は細菌やウイルス、カビの増殖と悪臭発生を抑制する。反応が早いため低濃度で除菌や消臭の効果を出す。人体に有害な物質は発生しないという。

同社の佐藤英明取締役は「塩素系の強い除菌剤は手荒れやアルコール蒸発による効果減退などの問題がある。手指だけでなく、噴霧により飛まつや空気感染を防ぐことができる」と指摘した。

価格はスプレーで2800円、加湿器用で1万5千円台(税別)に設定。医薬部外品でなく雑貨扱いのため業務用としては扱いやすく、価格も低めという。

同社は二酸化塩素ガスの液化過程で特許を取得。製造は外部に生産委託した。

販売は、県内3社を含む約15社の代理店を通じて行う。学校や公共施設に強い商社

の衛検産業(水戸市元吉田町、石井信明社長)とも代理店契約し、公共関連に拡販を始めた。店頭やネットでは販売せず、事業所を対象を絞る。

**【写真説明】**

新型インフルエンザの予防など向けに開発されたスプレーや加湿器用商品